**2008 年 02 月 12 日（第 5 版）
* 2007 年 07 月 18 日（第 4 版）

＊製品届出番号 27B3X00069000009

器具器械９　汎用Ｘ線診断装置用電動式患者台(40655000)
一般医療機器（特定保守管理医療機器・設置管理医療機器）

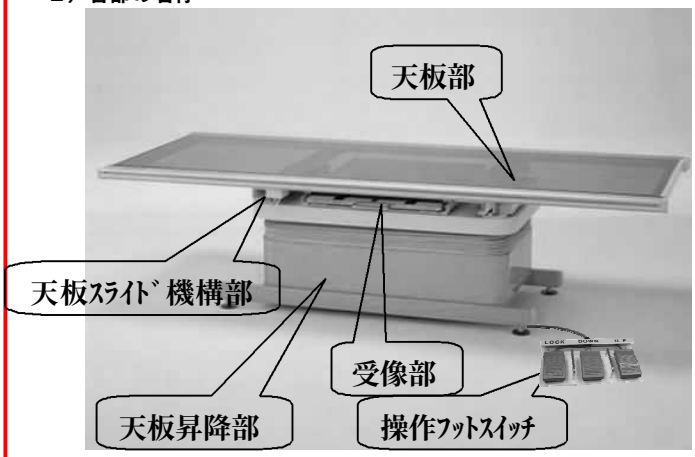
昇降式平面撮影台　ＳＡ－Ａ５

【警告】
１．Ｘ線防護について
Ｘ線装置を誤って使用すると、身体に危害を及ぼす場合があります。
２．被検者に関する警告
・天板をスライドさせる時は、被検者の方の手等がアルミフレーム部の底部や天板幅から、はみ出さない様ご指導願います。手等を挟む恐れがあります。
・テーブル本体は臥位専用ですので、テーブルの上に立ったりしない様ご指導願います。天板の破損や転倒する恐れがあります。
・テーブルの故障等で高い位置での乗り降りしない様ご指導願います。踏み台を利用するか、介助者の補助で乗り降りを行って下さい。
３．使用上の警告
・操作者は常に被ばくを防ぐ様に注意して下さい。特に撮影中に撮影室に入室する必要のある時は、防護衣、防護装置等を使用し不必要な被ばくのない様に充分注意して下さい。
・天板を上下移動・天板のスライドをさせる時は、付近に干渉物等がないことを確認の上行って下さい。機器の破損やケガをする恐れがあります。
・フットスイッチ（UP）（DOWN）のペダルを同時に踏み込まないで下さい。
・カセッテ又はデジタルカメラの着脱は、カセッテ又はデジタルカメラを必ず両手で持って行ってください。片手操作で着脱すると、カセッテ又はデジタルカメラの落下でケガをする恐れがあります。
・耐荷重（１３５Ｋｇ）以上の体重の患者には使用しないこと。

【禁忌・禁止】
・妊婦・産婦へのＸ線照射は避けて下さい。
・小児への過剰なＸ線照射は避けて下さい。

【形状・構造等】
１）構成
本装置は以下のユニットにより構成される。
（１）天板部
（２）天板スライド機構部
（３）天板昇降部
（４）受像部
（５）操作用フットスイッチ
（６）接続コード
詳細は装置付属の取扱説明書「第２章」を参照してください。

２）各部の名称



３）電気定格
定格電圧　単相　１００Ｖ
周波数　５０／６０ＨＺ
電源入力　１ＫＶＡ
保護の形式　クラス１
保護の程度　Ｂ形
電気安全規格：JIS T 0601-1:2002 に適合している。
４）本体寸法及び質量
寸法（mm）　幅 1940　高 520～920　奥行 750
質量　約１７０Kg

【性能、使用目的、効果・効能】
１）仕様
天板部外形寸法　巾 1940×奥行 750×厚み 40(mm)
アクリル天板寸法　巾 1898×奥行 620×厚み 10(mm)
天板面の高さ　床上 520～920（mm）油圧電動式
天板移動範囲　長手±500　短手±80(mm)
天板の固定方法　電磁オフロック式
受像部
ブッキータイプ又は静止グリッドタイプ
デジタルカメラタイプ
操作用フットスイッチ　３連(UP.DOWN。LOCK)
アジャスター　レベル調整用
２）使用目的
この装置はカセッテ又はデジタルカメラをセットし、Ｘ線発生装置と組合せて使用する臥位専用の撮影台であります。
３）効能又は効果
撮影台の天板部は、油圧駆動で天板上面が床上約 50cm～90cm（デジタルカメラの場合は約 52cm～92cm）の範囲で昇降しますので、ストレッチャーから被検者の方の移動に都合よく苦痛も少なくすみます。又低床設計なので撮影台への乗り降りが大変楽に行えます。任意の高さで停止できるので必要に応じた高さ調整が行えます。
天板の長手、短手方向スライドできますので患者に手を触れずにポジショニングが容易に行えます。
デジタルカメラの場合は保持板のトレイを引き出し９０°回転させることで、天板奥行き方向の１４インチサイズと 17 インチサイズの変更ができます。

取扱説明書を必ずご参照下さい。

【操作方法又は使用方法等（用法・用量含む）】

使用環境条件

温度　　１０～４０℃

湿度　　３０～８５%（結露しないこと）

設置上の注意

装置の設置は傾きの無い様に設置してください。

設置位置決定後はアジャスターでレベル調整を行って確実に固定して下さい。

操作方法

・天板の昇降

操作用フットスイッチの(UP)のペダルを踏み込んでいると天板が上昇し(DOWN)のペダルを踏み込んでいると天板が下降します。ペダルを踏み込んでいる間作動しますので任意の位置にくるとペダルから外せば停止します。天板の上限、下限、中間停止の位置ではペダルを踏み込んだままでも停止します。

・天板のスライド

フットスイッチ(LOCK)のペダルを踏み込んでいるとその間天　板の長手、短手のロックが同時に解除され天板を手動でスライドさせることができます。ペダルから外すと長手、短手が同時に固定できます。

【使用上の注意】

1．熟練した者以外は機器を使用しないで下さい。

2．機器を設置する時には次の事項に注意して下さい。

（1）水のかからない場所に設置する事。

（2）気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、硫黄分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれの無い場所に設置する事。

（3）傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など安定状態に注意する事。

（4）化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置しない事。電源の周波数と電圧及び許容電流値（又は消費電力）に注意する事。

（5）アースを正しく接続する事。

3．機器使用する前には次の事項に注意する事。

（1）検査を開始する前に装置に異常がない事。構成品、付属品が確実に固定されていることを確認する事。

（2）機器の併用は正確な診断を誤らせたり、危険を起こしたりする恐れがあるので、十分注意する事。

（3）この装置は防爆型ではないので、装置の近くで可燃性及び爆発性の気体を使用しないこと。

4．機器の使用中は次の事項に注意して下さい。

（1）　診断、治療に必要な時間・量を超えないように注意する事。機器全般及び患者に異常の無い事をたえず監視する事。

（2）機器及び患者に異常が発見された場合には、患者に安全な状態で機器の作動を止めるなど適切な措置を講ずる事。

（3）患者自身の状態によって、患者本人を危険な状態にすると判断される場合は使用しない事。

（4）機器に患者が触れる事の無いよう注意する事。

（5）天板の昇降、スライド操作は干渉物や、患者の手、足を挟まないよう注意して行うこと。臥位専用なのでテーブル端に立ったりしないこと。

（6）保持板部のトレイには必要以上に荷重をかけないこと。

（7）デジタルカメラやカセッテの装着は必ず両手で、手を挟まないよう注意して下さい。

（8）X線可動絞りは必要最小の照射野で使用する事。

（9）高齢者は握力など体力に問題がある場合は介助者を付けるなどして検査に臨む事。

5．相互作用

（1）本装置の傍で携帯電話など電磁波を発生する機器の使用は、装置に障害を及ぼす恐れがあるので使用しない事。

（2）指定された機器以外の装置を接続した場合、所定のＥＭＣ性能を発揮できない恐れがあるので指定機器以外は接続しない事。

6．機器の使用後は次の事項に注意して下さい。

（1）　コード類の取外しに際してはコードを持って引き抜くなど無理な力をかけない事。

（2）　保管場所については次の事項に注意する事。

Ⅰ水のかからない場所に保管する事。

Ⅱ気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、硫黄分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれの無い場所に保管する事。

Ⅲ傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など安定状態に注意する事。

Ⅳ化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しない事。

（3）付属品、コード、導子などは清掃した後、整理してまとめておく事。

（4）機器は次回の使用に支障の無いよう必ず清掃しておく事。

7．故障した時は勝手にいじらず適切な表示を行い、修理は専門家に依頼して下さい。

8．保守点検

（1）　機器及び部品は必ず定期点検を行う事。

（2）しばらく使用しなかった機器を再使用する時は、使用前に必ず機器が正常かつ安全に作動する事を確認する事。

9．その他

取扱説明書に従い、正しい操作を行って下さい。

【作動・動作原理】

昇降部はパンタアームを油圧シリンダーの駆動により上下移動させるため低床からスムースに広範囲のストロークを確保できます。

天板移動のロックはオフロック式電磁マグネットを採用。

受像部はデジタルカメラ保持装置又は、静止グリッド受像装置又は、ブッキー装置を内蔵しています。

【貯蔵方法及び使用期間等】

１）使用耐用年数（自己認証）

指定された保守点検を実施した場合に 10 年

２）定期交換部品

受像部トレイ

オフロック電磁ホルダー

フットスイッチペダル

アクリル天板

直流電源装置

詳細及び保守部品の保有年数については取扱説明書を参照してください

【保守・点検に係る事項】

日常点検　　取扱説明書内に記載（本文の【使用上の注意】内にも記載）してありますので、点検をお願いします。

年次点検　　消耗部品の交換等があるため、専門の業者に依頼して下さい。

1．使用者による日常点検事項

項目	点検頻度	点検内容（概要）
他の機器との干渉	日常	目視にて確認
受像部ﾄﾚｲの動作	日常	ｶｾｯﾃ等の保持確認
各部ｽｯﾄｯﾊﾟｰ動作 上下時の異常音	日常	固定動作の確認

2．業者による保守点検事項

項目	点検時期	点検内容
油圧シリンダーの油漏れ	１年	シリンダーシールド部ホース接続部の確認
ヒューズの交換	１年	同一規格のヒューズに交換
各部重要固定部	１年	固定ねじの増し締め

詳細は装置付属の取扱説明書を参照してください。

＊＊【製造販売業者及び製造業の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者：三共医療機株式会社
住所：大阪市平野区加美東６－１４－２２
TEL：（０６）６７９４－１６００
FAX：（０６）６７９４－１６０６
製造業者：三共医療機株式会社
住所：大阪市平野区加美東６－１４－２２